

注意点1



小指の押弦を固定して
ハーモニーを生み出そう

メイン・フレーズ1小節目1&2拍目には、チョーキングする弦としない別の弦を同時に鳴らしてハーモニーを作る“ハーモナイズド・チョーキング”が登場する。ここでは、2弦15フレットを小指、3弦14フレットを薬指で押さえて、3弦のみをチョーキングするが(写真①&②)、小指もつられてチョーキングしないように、小指の押弦を固定し続けるように注意しよう。



2弦15fを小指、3弦14fを薬指で押弦する。ネックをしっかりと握り込んで、薬指のみチョーキングの準備をする。



小指の押弦をキープしたまま、薬指だけチョーキングしよう。この時に小指がズレないように注意してほしい。

注意点2



薬指と小指の間隔を
キープせよ!

メイン・フレーズ2小節目3拍目に登場する2&3弦14フレットを同時にチョーキングするテクニックは、“ダブル・バンド(チョーキング)”と呼ばれている(写真③&④)。2本弦をキッチリ持ち上げるためには、人差指と親指でネックをしっかりと握り込みながら、薬指と小指の間隔がチョーキング前後で変わらないようにすることが大切だ。慣れるまでくり返し練習しよう。



2&3弦14fを小指&薬指で押弦。ネックをしっかりと握って、チョーキングを準備しよう。



2&3弦14fを同時にハーフ・チョーキングする。ダブル・バンド中に薬指と小指の間隔が開かないように注意!

注意点3



2本弦の音程が合うように
チョーキングを掛けよう!

メイン・フレーズ3&4小節目の“ユニゾン・チョーキング”は、チョーキングする弦としない弦を同時に弾いて、2音を同じ音程(ユニゾン)で鳴らすテクニックだ(写真⑤&⑥)。チョーキング音を別の弦の音程にキッチリ合わせないと、音が外れたような演奏に聴こえるので気をつけよう。慣れてきたら、*チョーキングにビブラートを掛けてもよい。



メイン・フレーズ3小節目1拍目。人差指で2弦12f、薬指で3弦14fを押弦しよう。



2弦12fを押さえている人差指はそのまま、薬指のみチョーキングする。2本弦の音程をしっかりと合わせよう。

【チョーキングにビブラートを掛けて】ギターならアンプ、ハンバガーならポテト、といったようなセット販売と同じく、チョーキングとビブラートは併用することが多い。この方が効果的で美味しいのだ!